これからの修理工事

- **石瓦を作成します。**
  石瓦屋根を解体する過程で、そのまま再利用できる瓦、修理して再利用できる瓦、新規作成が必要な瓦に仕分けしました。
  現在、新しい瓦を製作しています。石瓦は一つずつ手作業で製作します。
- **土居葺の一部解体と補修**
  瓦の下地にあたる土居葺は、一部傷んで穴が開いていました。そこで、部分的に土居葺を解体して修理を行います。また、さらに下の野地板まで傷んでいる部分は、野地板を取り替えます。
- **床下の鉄筋コンクリート製基礎と天守土台を鉄骨で緊結します。**
  現在､補強用鉄骨の製作を進めています。11 月以降に鉄骨の取り付け作業を進めます。
  作業は区域を２つに分けて、半分ずつ施工します。
- **3階の耐震対策を施します。**
  ３階壁の外側から耐震対策のための構造用合板（耐力壁）の取り付け作業を行います。耐力壁を取り付けた後、再度漆喰壁を塗っていきます。
- **金物を補修します。**
  天守の各所に取り付けられた錺金物は、傷んだものを補修します。
- **避雷針を修理します。**
- **鯱の修理をします。**

工事は令和9年11月末に完了する予定です。 作業によっては安全のために天守に入場できない場合や天守周辺の立入を制限する場合があります。
工事期間中はご不便をお掛けしますが、 ご理解とご協力をお願いします。

作成：坂井市教育委員会文化課・公益財団法人文化財建造物保存技術協会
工事写真提供：清水建設株式会社
点群画像：清水建設株式会社、測量：T&I 3D株式会社
令和８年10月24日

丸岡城天守保存修理工事　説明会資料

令和8年10月24日（土）
丸岡城マチヨリマーケット

建物概要

名称　　重要文化財　丸岡城天守　１棟
構造　　石製本瓦葺　木造　３階建て

修理に至る経緯

市では平成３０年から令和２年にかけて天守の耐震診断を実施しました。また、令和６年に「重要文化財（建造物）丸岡城天守保存活用計画」を策定し、修繕が必要な箇所を精査し、今後の事業計画を整理しました。
今回の保存修理工事は、まず令和６年度に基本設計を実施し、令和７年度から国と福井県の補助金の交付を受け、実施設計を経て保存修理工事に着手しました。
主な工事内容としては、屋根や壁などの経年劣化した箇所の修理、耐震対策工事等となっています。



天守の破損状況（令和４年頃撮影）
左上：３階廻り縁の板腐朽、右上：割れた屋根瓦
左下：上層屋根の腐朽した垂木（たるき）、２階漆喰剥落

工事概要

発注者	坂井市（坂井市教育委員会文化課）
設計監理	公益財団法人文化財建造物保存技術協会
施工	清水建設株式会社北陸支店福井営業所
工事費	２０８，７８０，０００円
工期	令和８年３月～令和９年１１月（予定）





仮設工事

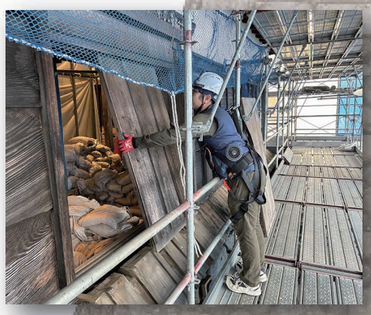
天守を覆う仮設足場は、令和８年５月に着手して７月末に組みあがりました。工事中の天守を雨風から守りながら、内部では各所で修理作業が進められています。外部足場の東面と西面には３次元点群測量で作成したイラストを印刷しています。





左官修理

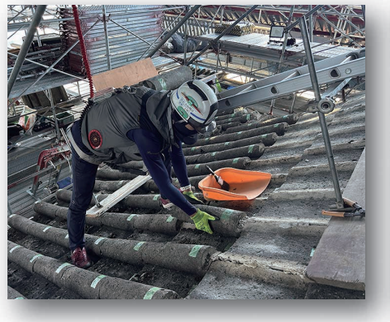
傷んだ漆喰壁を解体して塗り直しをします。また、３階の壁には構造用合板（耐力壁）を取り付けて耐震対策をはかります。現在３階の小壁と外側の内法壁を撤去している状態です。

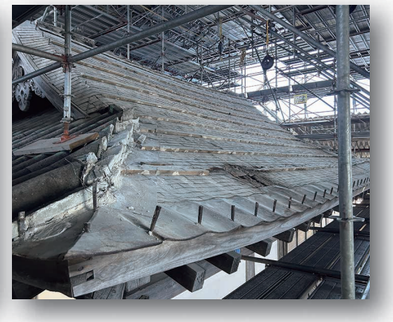




木工事①

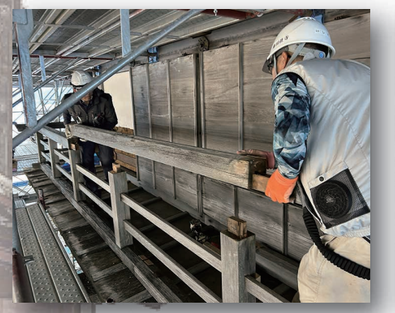
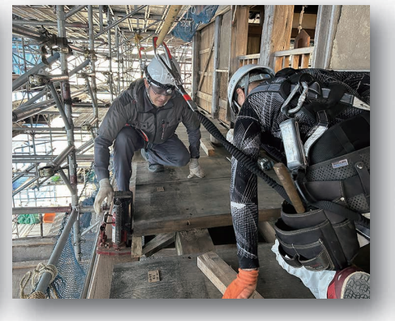
傷んだ建具や出格子、袴腰板等は解体して修理します。解体の過程では部材にどこの位置か分かる「番付」を付けながら作業を進めました。現在は三箇所の出格子が解体され、建具類が取り外されています。





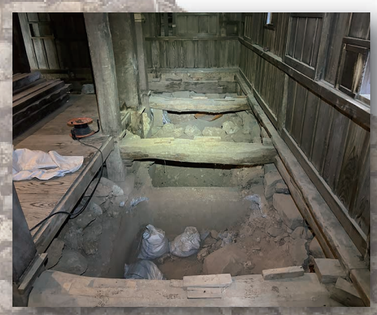
屋根修理

屋根は石瓦が割れたり、割れた瓦の隙間から雨水が侵入して下地が傷んだりしていました。今回はほぼすべての石瓦を外して、下地の傷んだところから修理します。現在傷んだ土居葺の解体作業をしています。


木工事②

３階の高欄は直接雨風にさらされるので、縁板共に腐朽などがみられました。架木（ほこぎ）から順次解体して、傷んだ部材を取り替えます。現在、高欄と縁板が解体された状態です





1階耐震対策工事

福井地震後の修理で、天守台内部には鉄筋コンクリート製の基礎を設けました。今回の工事では、この基礎と天守の土台を鉄骨で緊結して耐震対策をはかります。現在床下を掘って基礎を露出させています。